

稲WC S 収穫も二刀流で！

甲賀管内では今年度約 3.7ha の水田に稲WC S が作付けされており、9 月からマルチヘッダーを装備した汎用型飼料作物収穫機械による収穫作業が開始されました。

収穫作業は「うしのごちそう生産組合」が一手に担っており、汎用型飼料作物収穫機械で稲WC S と飼料用トウモロコシの収穫作業を行っています。

汎用型飼料作物収穫機械は、1 台で数種類の収穫が可能ですが、刈取り部を専用のアタッチに交換しなければならないため、収穫時期の重なる 9 月～10 月にかけて作業効率が低下し課題となっていました。

そこで、当センターでは昨年度、異なる作物の収穫が可能なマルチヘッダーアタッチの実証調査を実施し、課題解決の支援を行いました。

結果、作業性やサイレージの品質で良好な結果が得られたことから導入を勧め、今年度からマルチヘッダーアタッチによる収穫作業が本格的に実施されるようになりました。

現在は降雨続きで作業日程が遅れていますが、二刀流アタッチの活躍で終盤には挽回できるのではと期待しています。



コンパクトで作業性に優れたマルチヘッダー



中山間地の稲WC S も無難に収穫